

春の叙勲



旭日単光章 長野市

せき ひろゆき 関 幸博さん

ミールケア社長



旭日双光章 長野市

しみず みつろう 清水 光朗さん

県労働委員会委員



旭日双光章 長野市

いけだ りょういち 池田 良一さん

元県針灸師会会長

保険適用拡大に力注ぐ

鍼灸師になり50年余。「薬も使わず、人の体にはりを刺し、火を付けるだけで不調の症状が治ることが仕事の面白さ」と語る。

2005年から4年間、県針灸師会会長を務めた。長期の治療が必要な患者の負担を

減少しても減らし、治療を受けやすくしたいーと思いはり、きゆうの治療に健康保険の適用を広げる活動に注力。保険適用には医師の同意書が必要で、県医師会に協力を仰いで、県針灸師会全体で保険適用の治療を増やした。

地元で開業した鍼灸院は9年前に次男が継いだ。今も治療に携わる。患者から「おかげさまで治った」と声をかけられることがやりがいだ。受章に「個人ではなかなかもたえない名誉。県針灸師会の代表として頂けたと思う」と顔をほころばせた。長野市豊野町豊野。73歳。

労使が納得できるよう

2014年から、賃金未払いといった労使紛争の解決に当たる県労働委員会で「使用者委員」を務める。労使が歩み寄れるように、「白黒をつけるのではなく、双方が納得できる落としどころを探る」ことを心がけてきた。

長野市の印刷会社「カシヨ」の会長。委員となつてからの9年間で、男性の育児休業取得を巡る案件が目立つてきたことなどから「価値観の多様化」を実感する。自身は約40年前、会社での新印刷システム導入で徹夜も辞さない仕事

をしていたが、「自分は達成感があったが、違う思いの社員もいたかもしれない」と考えるようになった。「家庭や趣味に重きを置いている人もいる。働く人が何を大切にしているかを考えることが、紛争を避けるために大切」。今の思いだ。長野市大門町。71歳。

食育やアレルギー配慮

給食受託サービスの「ミールケア(長野市)」で、保育園や幼稚園、病院などに給食を提供して20年余。化学調味料を使わず、食育やアレルギーに配慮した献立にこだわってきた。

「感謝を口にした。」

給食の味を覚えていてくれる人がいてうれしい」と話す。19年の台風19号災害では、本社工場が浸水。再建の傍らで、一帯に広がる畑の復興にも気を配ってきた。地域振興への思いは強く、「食育を題材にしたテーマパークを、この地につくりたい」と力を込めた。長野市柳原。71歳。

給食受託サービスの「ミールケア(長野市)」で、保育園や幼稚園、病院などに給食を提供して20年余。化学調味料を使わず、食育やアレルギーに配慮した献立にこだわってきた。受章の知らせに、「従業員1800人の努力のおかげ

350園。大人になっても